

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年1月26日(2006.1.26)

【公開番号】特開2004-217869(P2004-217869A)

【公開日】平成16年8月5日(2004.8.5)

【年通号数】公開・登録公報2004-030

【出願番号】特願2003-9767(P2003-9767)

【国際特許分類】

**C 0 8 G 59/40 (2006.01)**

【F I】

C 0 8 G 59/40

【手続補正書】

【提出日】平成17年12月5日(2005.12.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 1分子中に2個以上のエポキシ基を有するエポキシ樹脂(A)と、エポキシ樹脂硬化剤(B)と、硬化促進剤(C)とを含有するエポキシ樹脂組成物において、

前記エポキシ樹脂硬化剤(B)は、1分子中に2個以上のエポキシ基を有するエポキシ樹脂(b1)と、芳香族多価カルボン酸化合物と芳香族モノヒドロキシ化合物とのエステルであるエステル化合物(b2)とを反応させてなるエポキシ変性エステル化合物であり、前記エステル化合物(b2)中のエステル結合1モルに対して、前記エポキシ樹脂(b1)中のエポキシ基が0.1~0.7モルとなる割合で反応させたものであることを特徴とするエポキシ樹脂組成物。

【請求項2】 前記エポキシ樹脂(A)のエポキシ基と、前記エポキシ樹脂硬化剤(B)のエポキシ変性エステル化合物に由来するエステル結合とのモル比が1:0.5~1:3である請求項1に記載のエポキシ樹脂組成物。

【請求項3】 1分子中に2個以上のエポキシ基を有するエポキシ樹脂(A)を硬化させるためのエポキシ樹脂硬化剤であって、

1分子中に2個以上のエポキシ基を有するエポキシ樹脂(b1)と、芳香族多価カルボン酸化合物と芳香族モノヒドロキシ化合物とのエステルであるエステル化合物(b2)とを反応させてなるエポキシ変性エステル化合物を主成分とすることを特徴とするエポキシ樹脂硬化剤。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

すなわち、本発明は、1分子中に2個以上のエポキシ基を有するエポキシ樹脂(A)と、エポキシ樹脂硬化剤(B)と、硬化促進剤(C)とを含有するエポキシ樹脂組成物において、前記エポキシ樹脂硬化剤(B)は、1分子中に2個以上のエポキシ基を有するエポキシ樹脂(b1)と、芳香族多価カルボン酸化合物と芳香族モノヒドロキシ化合物とのエステルであるエステル化合物(b2)とを反応させてなるエポキシ変性エステル化合物で

あり、前記エステル化合物（b2）中のエステル結合1モルに対して、前記エポキシ樹脂（b1）中のエポキシ基が0.1～0.7モルとなる割合で反応させたものであることを特徴とするエポキシ樹脂組成物を提供するものである。

また、本発明は、1分子中に2個以上のエポキシ基を有するエポキシ樹脂（A）を硬化させるためのエポキシ樹脂硬化剤であって、1分子中に2個以上のエポキシ基を有するエポキシ樹脂（b1）と、芳香族多価カルボン酸化合物と芳香族モノヒドロキシ化合物とのエステルであるエステル化合物（b2）とを反応させてなるエポキシ変性エステル化合物を主成分とすることを特徴とするエポキシ樹脂硬化剤を提供するものである。